

## 奥西委員・意見書 (p.7)

### 4 . 24 時間雨量の引き伸ばし率に限度があるべきか

第 9 回流出解析 WT の報告には、設定 2 について (引き伸ばし率の制約なし、ただしここでは、倍率 3 以下) と書かれています。WT の会議で川谷委員からこのような意見があったことは事実ですが、他から賛成意見はなく、そうしても時間分布で全部棄却されるから意味がないとの意見もある中で、私が一人でもそう言う要求があれば参考データとして提出してもらいたいと発言したと記憶しています。実際、第 20 回流域委員会資料 2-1 の表 ( 2 ) で引き伸ばし率 2.5 ~ 3.0 の欄に印を付けると、明らかにピーク流量が高い所に偏っています。本来的には、引き伸ばし率を高くしても、24 時間雨量を一定値に固定しているわけですから、ばらつきが生じても、ランダムにばらつくものと期待されます。実際 2.0 ~ 2.5 やその他の場合は全体的に散らばって、明瞭な偏りはありません。このことから、引き伸ばし率を 2.5 以上にすると統計的に極めて偏った結果が出るのが分かります。なぜそうなるかについて原理的な説明はできませんが、24 時間雨量を固定して、他の時間幅の雨量を極端に大きくするというプロセスがハイドログラフの形を偏ったものに行っているとすることは間違いなく言えます。

- 1 ) 引き伸ばし率 2.5 ~ 3.0 の欄に印を付けると、明らかにピーク流量が高い所に偏っています。
- 2 ) ばらつきが生じても、ランダムにばらつくものと期待されます。  
実際 2.0 ~ 2.5 やその他の場合は全体的に散らばって、明瞭な偏りはありません。
- 3 ) 引き伸ばし率を 2.5 以上にすると統計的に極めて偏った結果が出るのが分かります。

